

令和5年度 和歌山介護労働懇談会

日時:令和6年1月19日(金) 13:30~15:30

議題

- ★「調査検討委員会メンバーがみた
介護労働の実態について」
(第27回介護労働シンポジウム基調講演(ビデオ視聴)から
令和4年度介護労働実態調査内容の深耕を学習する。)
- ★ 令和5年度活動報告 和歌山労働局
- ★ 介護労働市町連絡部会について(報告)

主な参加機関・団体

和歌山労働局、和歌山公共職業安定所、和歌山
県商工観光労働部・健康保健部、和歌山県社会
福祉協議会、和歌山YMCA国際福祉専門学校



主な内容

当日の資料一覧

1. 「第27回 介護労働シンポジウム」基調講演(ビデオ視聴)

※ 令和4年度介護労働実態調査の調査検討委員会メンバー(大学教授)による講演

「介護人材の確保・定着・育成・処遇」

- ①「介護人材の確保・定着・育成の好循環につながる人材マネジメントを」
東京大学名誉教授 佐藤 浩紀 氏 (オンライン)
- ②「介護労働実態調査から伺える介護人材確保に向けての示唆」
茨城キリスト教大学准教授 菅野 雅子 氏
- ③「どのような取り組みが人材の育成と定着に効果があるのか」
法政大学教授 坂爪 洋美 氏
- ④「外国人労働者の活用状況と活用の効果」
玉川大学教授 大木 栄一 氏 (オンライン)

2. 令和5年度活動報告(和歌山労働局)

「充足・定着支援パッケージ事業」の展開

離職率が高い事業所であって、採用後の人材が定着しないなどの課題を抱え、重点的な支援が必要と考えられる介護事業所(以下「重点支援事業所」という。)に対して、ハローワークと介護労働安定センターが連携し、センターの相談援助事業の枠の中で労働局から依頼のあった介護事業所に対する支援を行う事業。
⇒ 令和6年度末までで和歌山労働局として、県全体で50事業所を計画

3. 介護労働市町村連絡部会の発足について

介護人材不足は、喫緊の課題として様々な取り組みがなされているが、介護人材の確保、雇用管理の改善、介護労働者の能力開発等、課題は未だ山積であり、市町村の関係部署にかかる比重は重くなる一方である。和歌山においても他府県地区同様、市町村レベルの連絡会を発足させ、市町村レベルでの交流・意見交換から取り組みへの活性化を図る。内容の深耕化に従って、県等の介護労働懇談会メンバーの参画も検討する。

事務局(介護労働安定センター 和歌山支部)からコメント

懇談会の内容に関する問い合わせは、当センター(073-436-9160)に御連絡ください。